

【1】

ほとんどの場合、子どもたちは、彼らの両親が「そうなってほしいと」期待するような種類の大人に成長する。もし日本人とアメリカ人の違いを理解したければ、親たちが自分たちの子どもを育てる仕方に着目しなければならない。

【2】

人には目が2つあるため、多くの奇妙な錯覚が起こりえます。まっすぐに伸ばした「左右の」人差し指を、指先同士がくっついた状態で、目の前に水平に置いてみましょう（伸ばした人差し指を目の前に水平に置き、指先を合わせてみましょう）。指越しに（指の向こうにある）遠くの壁に焦点を合わせ、指先を少し離してみましょう。「そうすると」2本の指の間に、「宙に浮いたホットドッグ」が見えますよ。

【3】

冷戦のあいだ、激しい衝突「争い／軋轢」のさまざまな局面が存在した。それらのうち、最も劇的で、最も危険だったものは、これまでのところキューバ危機である。それはまさに、総力をあげての核戦争「核兵器をめぐる総力戦」の勃発が、もはや時間の問題に過ぎないように思えたときであった。この危機がどのように起こったかを理解するためには、キューバとアメリカの関係、および両者の関係がだんだん悪化した理由について、いくらか述べる必要がある。

【4】

ほとんどの車やトレーラートラック、ボート、飛行機は燃焼により動くエンジンで駆動される。科学者たちは、不経済で有害となりえるエネルギー源と現在理解されているものの代替を創造するために腐心している。しかし現在のところは、我々はみな、暖を取ったり必要な場所に行ったりするために燃焼に頼っている。

【5】

・下線部（1）

現代科学技術が高度に専門的になればなるほど、私たちは科学技術についていけなくなる。あるいは、科学技術を点検できなくなる。

・下線部（2）

私たちは、専門家のようにあまりに詳細で込み入った仕方ではなく（複雑な細部には立ち入らずに）、より単純な輪郭で（より単純に概略的に）科学技術について検討（考察）しなければならない（よく考えてみなければならない）。そして、こうした輪郭から浮き彫りになってくると私が思う状況（私が思い描く、こうした輪郭から浮き彫りになってくる状況）は、人々を安心させるには（安心させてくれるものとは）程遠いものである。

以上